

XP Pro 32bit から Vista 32bit へ (ui)

(注：その後 Win.7 Pro 64bit へ移行)

少し前の事になりますが、Windows 7 の PC には Microsoft から OS を Windows 10 に無料でアップグレードしないかという通知が頻繁に来ていました。それは1年位続いたと記憶しています。

私の場合、その誘いには決して乗りませんでした。OS の変更は本当に大変な事です。

どんなトラブルに見舞われるか見当もつきません。

案の定、その誘いに乗ってしまった人々は相当ヒドイ目に遭ったようでした。

今回アップグレードの対象となる PC (Vostro 220s) は元々 Vista で動くはずでした。

それを出荷時に XP にダウングレードしてもらったので、再インストール・ディスクとして Vista と XP の両方 (共に 32bit) が付属しています。

そこでモノは試しということで、Vista をインストールしてみることにしました。

わざわざ Vista にする理由ですが、Vista なら (XP の IE8 ではなく) IE9 が使えるからです。

これほど条件に恵まれたアップグレードはそうそうあるものではありません、と言いたいところですが、結果はヒドイものでした。

- 1 フォルダーにもよりますが、アクセス権の問題が発生しました。これはクリーン・インストールの場合よりはるかに深刻、いわばグチャグチャ状態です。
なぜこんな事態になったのか？それは XP より Vista の方がセキュリティに厳しくなったからだろうと思います。
なるべく上流の方から、少なくとも「SYSTEM」「Administrators」「所有者」には全面的なアクセス権を持たせたいわけですが、一体何がどうなったのか全貌が分かりません。何しろ XP のときは何も問題は起きなかったのです。
もう面倒になって OS(C)そのもののアクセス権を操作すれば手間が省けないかと思い、ついにやってしまったのですが、膨大なフォルダ・ファイルのアクセス権を一度に変更することには無理があるようでした。
やはり OS(C)の直下のフォルダで操作をするしかないようです。
- 2 動いていたはずのドライバが動きません。ネットワーク&インターネットに繋がりませんし、ディスプレイのドライバもおかしい。
ネットワークについては、ネットワーク・アダプタ：

「Realtek RTL 8168/8111 Family PCI-E Gigabit Ethernet NIC (NDIS 6.0)」
を PC 付属のユーティリティ・ディスクからインストールしたらすんなりネットワーク
に繋がりましたが・・・。

- 3 今まで発生したことがない「プログラム互換性の問題」が発生。
こうなると、そのプログラムをサービス停止にするか削除するしか手がありません。
具体的には ATI Catalyst Control Center を削除しました。
- 4 その他、不具合はいろいろ発生しました。

これが上書きインストールの実態です。全くヒドイものです。

さて、目的だった IE9 のインストールです。Vista をインストールしたばかりの状態では
IE7 なので、Microsoft のサイトから IE9 をダウンロード&インストールしようとしても
全くうまくいきません。

私が受けた感触ですが、まず Vista が Service Pack 2 をインストールするようになるまで
沢山の更新プログラムのインストールを辛抱強く続けます。

この SP2 がインストールされているかどうか IE9 をインストール出来るかどうかの要件
だと思われます。

さらにここからが肝心なところです。

ネット記事によれば、Chrome (ブラウザ) から IE9 をインストールすればうまくゆくとの
ことで、これはやってみると本当にそのとおりでした。ひょっとすると Chrome でなくと
も MOJILLA でもうまくゆくのかもしれません。ただしなぜか IE9 の表記は英語になって
しまいました。

とにかく IE9 を入れることが出来たので万々歳でした。実際 IE9 は IE7 や IE8 とは全く
違います。

以上